



九州がんセンターにてピアサポーター事前研修会（2016.4.13）

がん患者さんやご家族への相談支援・情報提供を行うピアサポートがいよいよ4月20日にスタートします。スタートに先立ち九州がんセンターの竹山看護師長よりピアサポートを行う12カ条という、相談を受けるピアサポーターとしての心構えについてお話をいただきました。

今回の研修会には4月から6月まで実際にピアサポーターとして稼働する予定の17名が参加しました。

あらためて「ピアサポート」とは、**がんという病気を体験した人やその家族などがピア＝仲間として体験を共有し、ともに考える**ということです。

ピアサポート12カ条の中でとりわけ印象的であった事をいくつか挙げてみたいと思います。

物事の価値観は10人いれば10人とも違う。

自分の意見を押しつけることはしてはいけないということ。

人は色々な意味で置かれている環境もそれぞれ違うのですから。

“ガンバって”という励ましが時には負担になるということ。

これ以上何をどう頑張れば良いのか逆に辛くなってしまう。

聴く姿勢を大切にすること。

患者の皆様やご家族は重い話題を勇気を持って話し、相談にいらして下さるのだからその気持ちを考えて個人情報を決して外部に漏らしてはいけない。

ここで話しをした事は一切持ち帰らないということ。プライバシーの重要性について厳しく言われました。

このようにピアサポーターは相談者の力になりたいというしっかりとした心構えを持ち間もなく始まろうとしているピアサポートに向けて研修会を重ねてまいりました。

第一回目は4月20日（水）13：00～15：00（毎月第3水曜日）九州がんセンター1階患者サロンにて開催されます。

多くの方々に気軽に訪れていただき少しでもお気持ちに添えることを願っております。

レポート：久富 淳子